

子どもの学習 地域で手助け

低所得世帯の子 大学生ら指導
学習支援に取り組むボランティアスタッフから
—西明石南町3

低所得世帯や一人親世帯、多子世帯の子どもたちを対象とした学習支援教室が、明石市西明石南町3のサンラーニングセンター(加東市)の学校教育学部3年多田実季さん(20)による。運営するのは大学4年生でつくるケループ。小中学生16人が登録し、ホームページなどで知ったボランティアとして、多田さんは2011年にあつた大津市の中



サンライフ明石

2名自殺などに觸り、中学校2年年の女子生徒(13)は「教え方が上手で分かりやすい。でもたちは笑って過ご」家では勉強がなかなかせん環境づくりに貢献はかどらないから楽ししたい」と同団体を設立した。

今月中旬から、加東

学習支援教室は15年5月から週に1回開いた同グループ。多田さんは将来教員になるとのボランティアスタッフが交代で先生役を務め、宿題やテスト勉強などを教えている。受講でるのは、子どもが3人以上いる世帯や、4人家族の場合で手取り金額が月額1万円以下の世帯。受講料は月額最大で500円。同団体は050-55080-5448(井原尚基)



「兵庫子ども支援団体」代表理事の多田実季さん

大学生や住民有志が休日や放課後、小中学生に宿題やテスト勉強の手ほどきをする学習支援教室が明石市内で相次いで開講している。地域の子どもを地域で見守ることを目的に、居場所をつくったり、悩みの相談に乗りたりすることを目指している。